

新工場の建設に向け、 経営革新計画や資金調達を支援

課題

多品種小ロット化で危機をしのぐも 経営ロスが明らかに

平成2年に金属プレス製品製造業として創業、平成9年に法人化した有限会社大窪鉄工。主業務は工作機械のカバーやチップコンベアのカバーに用いられる薄物板金製品の溶接加工である。リーマンショックで経営危機に追い込まれたが、多品種小ロット路線に切り替えたことで売り上げが回復。現在は、県内を中心に約30社と取引を続けている。

同社の強みは、一品物の受注に対応できる点と、品質管理体制にある。

しかし、近年に入って、町内に2カ所ある工場が手狭になり、主要取引先からは図面展開から塗装に至る工程を一貫して行うワンストップ体制での生産を要望されている。また、工場間の移動などで、ムダに費やしている時間も多かった。

加えて機械加工については、一部を外部委託で生産しているため、繁忙期には委託を断られることもあり、その結果、受注機会を逃していることもあった。

経営者は、今後はこれらの点を改善したうえで、成長を図りたいと悩んでいた。

支援

新工場建設、税対策で 安心して事業展開を図る

同社では、経営合理化のために新工場を建設し、新たな設備を導入することや、近年、利益が大きくなったことから、税対策についての支援も希望していた。

そこで、宝達志水町商工会では、経営革新計画や経営力向上計画への取り組みを提案した。どちらに力点を置かが不明だったため、専門家派遣制度を活用して、より適切な施策について判断を仰いだ。その結果、それぞれの効果を経理的に分析したうえで、双方の計画を順に申請することになった。

その後、県担当者との調整を重ね、経営革新計画が承認され、日本政策金融公庫と借入れの話し合いを進め、その後、ものづくり補助金の計画書作成を支援した。さらに、税金対策の一環として、地域未来投資促進法の申請を提案し、その準備として地域経済牽引事業計画書の作成を支援した。

こうした支援の成果として、経営革新計画承認で日本政策金融公庫から借入れを受けることができ、また、経営力向上計画の承認で導入設備の一括償却による税対策が実行でき



新工場の様子

た。さらに、地域未来投資促進法の承認で、建物にかかる税の特別控除が行われる見込みである。

今後は、事業領域の拡大と、設備投資による加工時間短縮を実現することで、よりいっそうの受注量拡大も見込まれる。また、各種助成制度の活用で、経済的な負担が軽減されたことで、経営者も従業員も安心して、事業展開を進められるようになった。

支援の経過

期間	支援内容
H29年9月	ヒアリング、経営革新計画の申請支援
H30年1月	経営革新計画の承認
H30年2月	経営力向上計画のためのヒアリング
H30年4月	経営力向上計画の承認、ものづくり補助金の申請支援
H30年6月	低金利での借入れ承認、地域経済牽引事業計画の承認

会社概要

会社名：有限会社大窪鉄工
所在地：石川県羽咋郡宝達志水町南吉田513-1
電話番号：0767-28-8200
代表者名：大窪昌次
創業年：平成2年
従業員数：26名
商工会名・担当者名：宝達志水町商工会・合田昇平